

**ICEP 2018 ベトナム**  
インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム  
International Community Engagement Program  
**活動報告書**



認定NPO法人ミュージック・シェアリング

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ708  
TEL:03-3261-1855 FAX:03-3261-1856 E-mail:info(AT)musicsharing.jp  
<http://www.musicsharing.jp>

## ■ 認定NPO法人ミュージック・シェアリングとは

1992年より、文化・芸術の振興、子どもの健全育成、福祉の増進を目的として、成長過程にある子どもたちや音楽に触れる機会の少ない人々に本物の音楽を届ける活動を行っています。本物の音楽を通して豊かな心を育てるとともに、音楽家の社会貢献活動に対する理解を深める場を提供する音楽プログラムを実施しています。ミュージック・シェアリングの活動は全て個人、法人からのご寄付・ご支援、助成金、企業協力によって成り立っています。

## ■ ICEP（インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム）

五嶋みどりと世界中からオーディションによって選ばれた若手演奏家3名がカルテットを組み、アジアの開発途上地域の学校・病院・福祉施設などを訪れ、音楽を通じた相互理解と文化交流を行うプログラムです。これまでに、ベトナム（2006年）、カンボジア（2007年）、インドネシア（2008年）、モンゴル（2009年）、ラオス（2010年）、バングラデシュ（2012年）、ミャンマー（2013年）、ネパール（2016年）、インド（2017年）、ベトナム（2018年）で実施しました。12月に行われるこのICEPツアーの翌年6月には日本での「訪問プログラム」に参加し、東京と大阪で「ICEP活動報告コンサート」を行います。

### ICEP の2つの目的

#### ◆未知の文化体験をアジアの子どもたちに

訪問する地域の人々は、身近な場所でクラシック音楽の生演奏を聴く機会がほとんどありません。子どもたちをはじめとする現地の人々が生のクラシック音楽に触れることで、相互理解・クリエイティビティ・向上心を育むことを目指しています。

#### ◆世界各国の若手演奏家とともに活動

五嶋みどりとカルテットを組むのは、世界からオーディションにより選ばれた若手演奏家3名です。オーディションでは録音審査以外に小論文やメールインタビューの課題を設け、総合的に評価しています。若手演奏家がICEPの経験を通じて音楽のもたらす力について見つめ直し、音楽家としてできる社会貢献活動とはどのようなことなのか、実体験を通じて認識していきます。

### 日本での活動

ICEP訪問国での活動を日本国内に発信するため、ツアーの翌年には日本でカルテットを再結成します。訪問国での活動について演奏家自身が語る「ICEP活動報告コンサート」の実施に加えて、日本の学校・病院・福祉施設などを訪問する「訪問プログラム」にも参加し、日本の子どもたちや社会的に立場の弱い人たちにも本物の音楽を届けます。



## ■ 参加アーティスト



### 五嶋みどり (ヴァイオリン)

#### Midori

1982年にニューヨーク・フィルハーモニックとの共演でデビュー。以来著名なオーケストラや音楽史上に残る指揮者と共演。第56回グラミー賞受賞の「ヒンデミット作曲ヴァイオリン協奏曲」など数多くのCDがリリースされている。多忙な演奏活動と両輪に、文化・芸術の振興、交流を目的とした様々な非営利団体を創設。25年以上にわたり子どもたちや社会的弱者に本物の音楽を届ける活動を先導し、情熱を注ぐ。特にアジアでは、選ばれた優秀な若手音楽家と共にICEP(インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム)を実施。文化交流のみならず、社会活動の啓蒙に余念がない。2018年よりカーティス音楽院にて教鞭をとる。2007年より国連ピース・メッセンジャー。イェール大学名誉博士号受称。2012年にダボス世界経済フォーラムにて「クリスタル賞」など、賞歴多数。

<http://www.gotomidori.com/>



### タチアナ・ルース (ヴァイオリン)

#### Tatjana Roos

7歳のとき、ジリアン・ウェアリングのミュージアム・ショーで"タイスの瞑想曲"を録音し一躍有名になった。10歳でシンガポール国立大学音楽学部「ヨン・シュー・トー音楽院」にてソリストとしてデビュー。王立音楽院とユーディ・メニューイン音楽学校で学んだ後、ウィーン国立音楽大学、ニューイングランド音楽院などで研鑽を重ねた。アンドレア・ポストッキーニ国際ヴァイオリンコンクールでの1位をはじめ、ロイヤルタンブリッジウェルズ国際音楽祭、アンリ・マルトール国際ヴァイオリンコンクールでも受賞。シンガポール国際ヴァイオリンコンクールではセミ・ファイナルに出場した。最近ではCity Chamber Ensemble、ウクライナ国立オデッサ歌劇場管弦楽団と共演。これまでミリアム・フリード、メナヘム・プレスラー、キム・カシュカシャン、アナ・チュマチェンコ、パメラ・フランク、五嶋みどりらに師事。<http://tatjanaroos.com/>



### シャーロット・マリン (ヴィオラ)

#### Charlotte Malin

米国ノースウェスタン大学をヴァイオリン専攻で卒業後ヴィオラに転向し、キム・カシュカシャンの下で研鑽を積み、2017年にニューイングランド音楽院の修士号を取得。現在ハドソンバレーフィルハーモニックの首席ヴィオリストを務める。これまでにハートフォード交響楽団、シカゴ・シビック・オーケストラ、ニュー・ワールド交響楽団といったオーケストラと共演。米国ニューポート音楽祭やペンシユラ音楽祭では、パークシャー・チェンバー・プレーヤーズやFest' Inventio in Parisらとも演奏し、タングルウッド音楽センターのフェローには3回選ばれている。また、ノースウェスタン交響楽団・室内管弦楽団のソリストとして出演。ニューイングランド音楽院の室内管弦楽団のメンバーで、ファークライ室内管弦楽団のフェローシップを受けた若手演奏家である。

<https://hartfordsymphony.org/about/musicians/orchestra/charlotte-malin/>



### アラン・トダ・アンバラス (チェロ)

#### Alan Toda-Ambaras

パリのロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで新進奨励賞を受賞。ソリスト・室内楽奏者として世界を舞台に活躍を続けている。ハーバード大学にて美術史と建築学の学士号を、ニューイングランド音楽院では音楽の修士号を取得。ヨーヨー・マをはじめとするシルクロードアンサンブルやボロメーオ・カルテット、リンカーン・センター室内楽協会などのメンバーと共演。これまでにノースカロライナ・シンフォニーにソリストとして出演。米国のタオス音楽祭やハルシオン音楽祭にも参加。新進気鋭の現代作曲家たちから作品を献呈され、Trevor Bačaの"Huitzil", Stephanie Ann Boydの"Tekton"などを初演。また演奏活動だけにとどまらず、クラシック音楽と他分野との協同研究組織「Project LENS」を共同設立し、ボストンでは社会活動を目的とし創設した「Eureka Ensemble」を運営し、幅広い活動を行っている。

<https://www.eurekaensemble.org/alan>

## ■ スタッフ



### イェンドリック・マシュケ (コーディネーター)

#### Jendrik Maschke

## ■ 訪問国

### ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam

**面積** 33万1,690平方キロメートル（日本の0.88倍）

**人口** 9,367万人（2017年、出所：ベトナム統計総局（GSO））

**首都** ハノイ

**民族** キン族（越人）約86%、他に53の少数民族

**言語** ベトナム語、ほかに少数民族語

**宗教** 仏教（約80%）、そのほかにカトリック、カオダイ教、ホアハオ教など

※日本貿易振興機構ホームページより

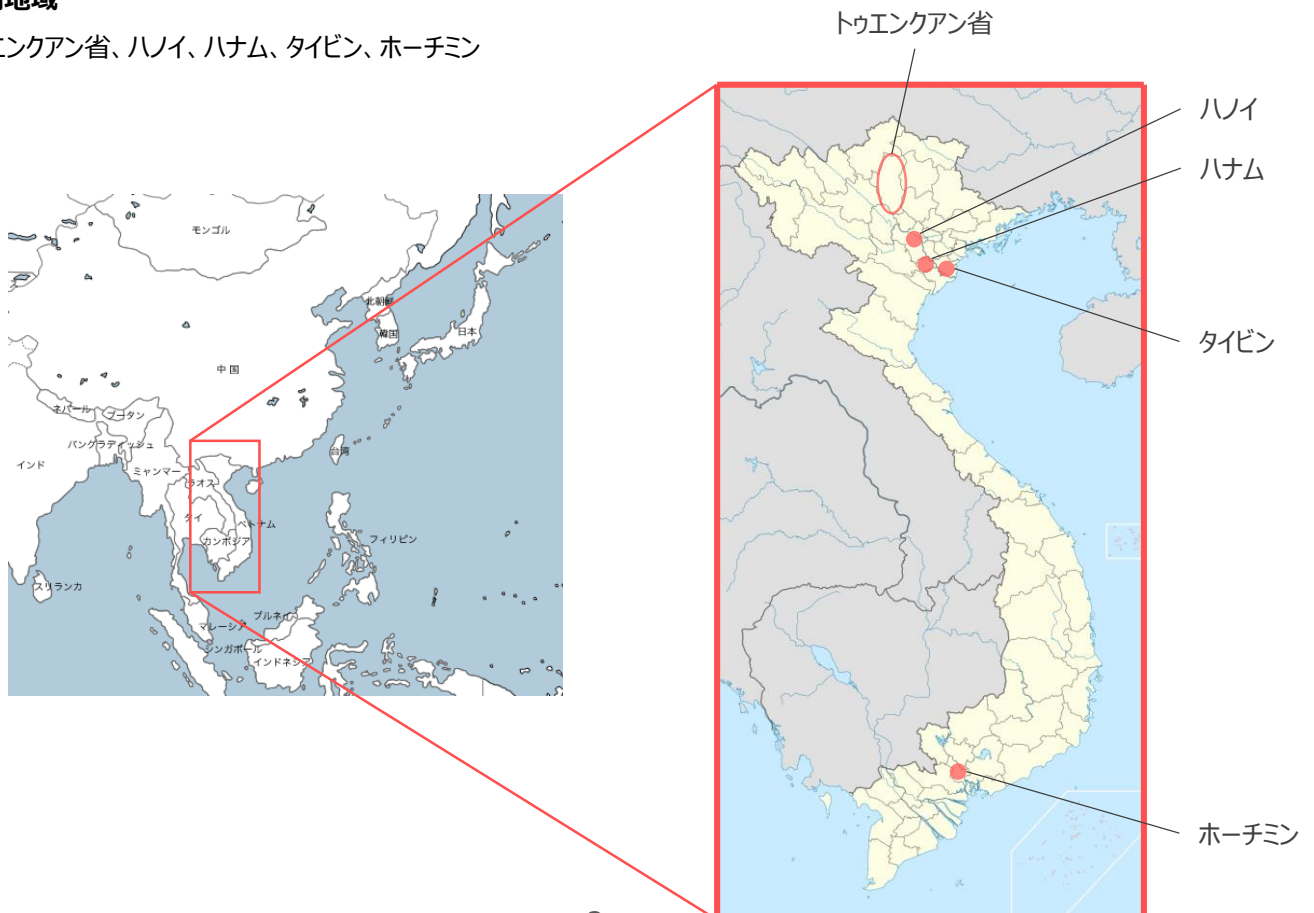
#### 略史

19世紀にフランスによる植民地支配の下で、法制度及び統治体制の近代化が進行した。第2次世界大戦終結後、国民の植民地支配への不満を背景に、1945年ベトナム共産党ホーチミン主席がベトナム民主共和国独立宣言を行った。1946年～1954年フランスに対して独立戦争（インドシナ戦争）を行い、1954年7月ディエンビエンフーの戦いで勝利し、ジュネーブ休戦協定により独立を勝ち取った。同時に、北緯17度線を暫定軍事境界線として南北分離され、ベトナム民主共和国（北ベトナム）とベトナム国（南ベトナム）となった。その後、1965年米軍による北爆が開始され、1973年パリ和平協定によりアメリカ軍が撤退した。社会主義政権により、1976年に南北統一が果たされ、国名をベトナム社会主義共和国に改称した。当初推進していた性急な社会主義改革路線が失敗に終わったことから、1986年の第6回党大会にて採択された市場経済システムの導入と対外開放化を柱としたドイモイ（Doi moi、刷新）政策を開始した。現在は、ドイモイ路線を継続、外資導入に向けた構造改革や国際競争力強化に取り組んでいる。他方、ドイモイの進展の裏で、貧富の差の拡大、汚職の蔓延、官僚主義の弊害などのマイナス面も顕在化している。

※厚生労働省資料（2012）より

#### 訪問地域

トゥエンクアン省、ハノイ、ハナム、タイビン、ホーチミン



## ■ 活動概要

活動期間	2018年12月15日～12月27日
プログラム回数	計21回（訪問コンサート19回+文化交流1回+公開リハーサル1回）
参加者総数	約1,200名
主催	認定NPO法人ミュージック・シェアリング
助成	日本万国博覧会記念基金
協賛	キッコーマン株式会社、三井石油開発株式会社、花王株式会社、株式会社ダイナトレック、牧野禮子
協力	国際農業開発基金(IFAD)、Saigontourist Holding Company、ベトナム国立音楽院、Hermes Gift、公益財団法人笹川記念保健協力財団、PR <sup>2</sup> classic、特定非営利活動法人日本口唇口蓋裂協会、株式会社オフィスGOTO
演奏曲	モーツァルト 弦楽四重奏曲第16番変ホ長調 KV428 プッチーニ 弦楽四重奏曲「菊」 ドビュッシー 弦楽四重奏曲ト短調 Op.10 J.シュトラウス2世 常動曲 アリ＝ザデー Reqs チャイコフスキー 『くるみ割り人形』より「トレパック」 他

## ■ スケジュール

ベトナム国立音楽院（ハノイ）で4日間リハーサルを行った後、2018年12月18日、ハノイでツアー開始。ハノイを中心に、トゥエンクアン省、ハナム、タイビンなどのベトナム北部を回った後、南部のホーチミンで10日間のツアーを終了しました。

日程		訪問地	No.	訪問先・プログラム
12月15日 ～18日	土～火	ハノイ		Vietnamese National Academy of Music (ベトナム国立音楽院) のベトナム伝統音楽部と文化交流
				Vietnamese National Academy of Music (ベトナム国立音楽院) にて公開リハーサル
12月18日	火		1	Phuc Tue – Disabled center (障がい者支援施設)
12月19日	水	トゥエンクアン省	2	Hung My Commune – Pig farm (養豚場)
			3	Thuong Lam – Community house of culture (文化交流施設)
			4	Thuong Lam – Village home stay (宿泊施設)
			5	Tho Binh Commune – Community hall (コミュニティーホール)
12月20日	木		6	Minh Quang Commune – Peanut farm (ピーナツ農場)
			7	Nguyen Dinh Chieu School (学校)
12月21日	金	ハノイ	8	Thanh Xuan Peace Village (障がい者支援施設)
			9	Sol Art Center (芸術センター)
12月22日	土		10	Bode Orphanage (孤児院)
12月23日	日	ハナム	11	Ba Sao Leprosaria (ハンセン病療養所)
		タイビン	12	Van Mon Leprosaria (ハンセン病療養所)
12月24日	月	ハノイ	13	Vin School (学校)
12月25日	火		14	Thien Phuoc (障がい者支援施設)
12月26日	水	ホーチミン	15	Nguyen Dinh Chieu Blind School (視覚支援学校)
			16	Tu Du Hospital (病院)
			17	Hoa Binh Peace Village (枯葉剤患者リハビリ施設)
12月27日	木		18	Ky Quang II Pagoda (孤児院)
			19	Youth Union of Ho Chi Minh City (青少年センター)

## ■ 各訪問先と活動の様子

### ● 12月18日【ハノイ】

#### 1. PHUC TUE DISABLED CENTER (障がい者支援施設)

PHUC TUE DISABLED CENTERは、障がいのある子どもたちが自信を持ってより自立した日常生活を送れるよう助けることを使命としています。障がいのある子どもたちが社会のコミュニティーに属するための支援だけでなく、精神的なケアも行っています。

- 演奏時間：約40分（2部屋、各部屋20分）
- 参加者：約60名（各部屋30名）

### ● 12月19日【トゥエンクアン省】

#### 2. HUNG MY COMMUNE – PIG FARM (養豚場)

<https://www.ifad.org/en/web/latest/story/asset/40960059>

国際農業開発基金（IFAD）が支援する養豚場。IFADは農村地帯の貧しい人々が食糧や栄養を改善し、所得を増やし、経済的回復力を強化できるようにする国連の専門機関です。

- 演奏時間：約40分
- 参加者：約50名



2. 農家の前で演奏するカルテット

#### 3. THUONG LAM – COMMUNITY HOUSE OF CULTURE (文化交流施設)

<https://www.ifad.org/en/web/latest/story/asset/40960059>

IFADが支援する地域の文化交流施設。

- 参加者：約70名（地元の住人）

#### 4. THUONG LAM – VILLAGE HOME STAY (宿泊施設)

<https://www.ifad.org/en/web/latest/story/asset/40960059>

IFADが支援する地域の宿泊施設。

- 演奏時間：約40分
- カルテット演奏後、地元の音楽家たちが演奏してくれました。



4. 民族衣装を着た女性と話をするみどり

## ● 12月20日【トゥエンクアン省】

### 5. THO BINH COMMUNE – COMMUNITY HALL (コミュニティーホール)

<https://www.ifad.org/en/web/latest/story/asset/40960059>

IFADが支援する地域のコミュニティーホールの前でカルテットが演奏しました。

- 演奏時間：約40分
- 参加者：約40名（女性）



5. 聴衆にカルテットを紹介するみどり

### 6. MINH QUANG COMMUNE – PEANUT FARM (ピーナッツ農場)

<https://www.ifad.org/en/web/latest/story/asset/40960059>

IFADが支援する地域のピーナッツ農場。

- 演奏時間：約30分
- 参加者：約25名（女性）



6. みどりにピーナッツ農場について説明する農家

IFADの農村開発プロジェクト対象地域である人里離れた共同体をいくつか訪問しました。IFADのプロジェクトを実際に見て、そのプロジェクトの恩恵を受けている人々と話ができ、大変勉強になりました。

IFADはローマに拠点を置く国連の専門機関の一つで、貧困と飢餓を解決するためにアジアや太平洋地域で活動しています。特に、私たちが訪問することができたのは、低金利貸付プログラムの一環で、少数民族や女性など、社会的に立場の弱い人々を対象にしているところでした。少数民族として暮らす女性や子どもたちにとって話をし、彼女たちの経験を直接聞くことができました。プロジェクトの目的は、世帯収入、食糧安全保障と栄養の現状を改善することです。少額で低金利の貸付が特に女性になされ、農業以外の活動もさかんに行われるようにトレーニングを受けることができます。女性たちは、自分たちが最初どれほど不安だったかという話をしてくれました。なぜなら、それは寄附でなく、利子（小さいですが）をつけて返済しないとイケない借金なのです。この貸付金を利用して、彼らは良い種や肥料や家畜などを購入し、またIFADより派遣された専門家によって、高品質の製品を作りだすように、より良い訓練を受けることができました。彼女たちは少人数でより良い品質の物を作る方法を学んだのです。また、低金利貸付制度が彼女たち自身や家族、特に子どもたち、ひいてはコミュニティ全体への投資の布石となることを学びました。

私がよかったと感じたのは、このような女性たちの熱気だけではありません。彼女たちはプロジェクトに感謝するだけでなく、自信とプライドで輝いていました。彼女たちは自分たちの働きと収入が、村の道路を舗装し、子どもたちに教育の機会を与えて、良い家を持つことにつながると分かっているのです。今では小さな事業の経営者となったことで、家庭内での立ち位置や夫との関係が変わったという女性もいました。特に記憶に残っているのは、二人の子どもを持ちながら養豚プロジェクトに従事する女性の話です。所得が向上したおかげで二人の子どもを大学に進学させることができ、一人の娘は医科大の入学が決まりました。このプロジェクトを通じて、女性はどんどん自信と力をつけ、その能力は伸び続けるでしょう。そして、自分たちの母親、姉妹、叔母に生じた変化を目の当たりにした女の子たちも、また良い影響を受けています。村の女性たちは今では目的意識をもって生活し、その実現を夢見ながら積極的に人生を送っています。

実際にプロジェクトが実施されている現場を訪問し、またその途中で音楽を通じた交流ができるという素晴らしい経験をもたらしてくれました。私たちICEPカルテットが村人のために演奏をし、村人たちが私たちのためにパフォーマンスを披露してくれました。その場にいた全員笑顔を見て、あたたかい気持ちでいっぱいになる特別な機会となりました。

(ICEP Blog: 五嶋みどりより)

## ● 12月21日【ハノイ】

### 7. NGUYEN DINH CHIEU SCHOOL (学校)

視覚障がいのある子どももない子どもと一緒に在籍する学校。視覚障がいの生徒は約50人で、キャンパス内に寮があります。

- 参加者：約70名（2つのクラスで演奏）
- カルテットの演奏の後、シャーロットとアランは個別に他のクラスで演奏し、みどりとタチアナは視覚障がいの子どもたちのものを訪れました。



7. 生徒たちから拍手をもらうアラン

### 8. THANH XUAN PEACE VILLAGE (障がい者支援施設)

<http://msavlc.org/thanh-xuan-peace-village-vietnam/>

身体的、精神的に障がいのある児童や若者のための医療施設。現在150人の患者が治療を受けており、130人の子どもたちがここで暮らしています。子どもたちの75%は枯葉剤の影響により身体的にも精神的にも様々な障がいを抱えています。

- 演奏時間：約30分
- 参加者：約25名（障がいをもつ子どもたちとその親）



8. 障がいのある子どもたちに向けて演奏をするカルテット

### 9. SOL ART CENTER (芸術センター)

<http://solart.vn/>

放課後、児童に美術や音楽を教える施設。

- 参加者：約40名（聖歌隊の児童たち）
- カルテットの演奏の後、聖歌隊が歌を披露してくれました。

今日は3か所で4回の演奏を行いました。くたくたに疲れましたが、とても爽りの多い一日でした。

(中略)

演奏が終わると一人の生徒が立ち上がって、今日は僕たちのために演奏しに来てくれてありがとう、とお礼を述べてくれました。控室まで来て、少しでも演奏を披露してくれる子どもたちもいました。その演奏を聞きながら、私はふと、このICEPというプログラムがどういうものかを実感しました。ICEPの目指すところは、音楽に触れる機会の少ない人たちとただ音楽を分かち合うだけでなく、お互いに心を通わせて、お互いから何かを得ることです。そこでは、人と人とのつながりが大切になります。音楽の素晴らしい点は、全く言葉の壁がないことです。演奏を披露してくれた視覚障がいの子どもたちの中には、ヴァイオリンの演奏技術が高いだけでなく（ほんの少しだけの演奏でしたが）、自分たちは楽器を通して会話できるんだという確信を持っている子もいて、本当に目を見張りました。彼らほど、傷つくことを恐れないで心を開ける演奏者は、プロの中でもなかなかお目にかかれませぬ。

(中略)

こうして振り返ってみると、今日は素敵な一日でした。さまざまな境遇の子どもたちのために演奏をして、音楽に対する子どもたちの反応を見れば見るほど、もっと演奏したい、もっと反応を見たい、もっと音楽を分かち合いたい、という気持ちになります。これが芸術家としてのゴールでなくて、いったい何がそうだというのでしょうか。

(ICEP Blog: タチアナ・ルースより)



## ● 12月22日【ハノイ】

### 10. BODE ORPHANAGE (孤児院)

<https://www.facebook.com/bode.orphanagehanoi>

新生児から13歳までの孤児およそ55人を養護する施設。僧侶（比丘）が代表を務めています。Volunteer in Vietnam for Community Development のご紹介。

- 参加者：約40名
- カルテットの演奏の後、みどりとタチアナは新生児に演奏を聴かせました。



10. 新生児に演奏を聴かせるみどり

## ● 12月23日【ハナム&タイビン】

### 11. BA SAO LEPROSARIA (ハンセン病療養所)

およそ60人のハンセン病患者が生活する療養施設。3世代にわたる家族が暮らす居住地があります。

- 演奏時間：約40分
- 参加者：約40名（コミュニティーホールにて住人たちの前で演奏）
- その後、4人は個別で病室を訪れ、重症や高齢のためにホールのプログラムに参加できなかった人たちに向けて演奏しました。



11. 最高齢の患者の前で演奏するみどり

### 12. VAN MON LEPROSARIA (ハンセン病療養所)

およそ100人のハンセン病患者が暮らす療養施設。ここにも3世代にわたる家族が暮らす居住地があります。

- 参加者：約65名（コミュニティーホールにて住人たちの前で演奏）
- その後、カルテットメンバーはそれぞれ病室を訪問し、約15名の患者のそばでソロ曲を演奏しました。



12. コミュニティーホールで演奏するカルテット

最初に訪れたバーサオ療養所では、特に、孤独に暮らすお年寄りの方たちが印象的でした。療養所内には小さくて暗い部屋がたくさんありますが、カルテットの演奏後、僕はそんな部屋で生活する2人のお年寄りにチェロのソロ曲を披露しました。2人とも75歳を超えているようで、その場所にはもう何十年も暮らしているとのことでした。介助なしでは動き回ることもできません。どれほど静かで代わり映えのしない毎日を送っているか、彼らは演奏の合間に語ってくれました。来客があったとしても、家族や友人の訪問が一年に数回だけです。僕にとって、わずかでも彼らと話げできたのは貴重な経験でした（笑い合うことも何度かできました！）。彼らは、僕の演奏と同じくらい、こうした会話にも感謝してくれました。もっと多くの音楽家が定期的にこういった場所を訪れて、そこの住人たちと文化も世代も超えた関係を築ければ、それはどれほど素晴らしいことだろうかと、次の訪問先に向かう車中で思案している自分がいました。正しい状況下での演奏は、しきたりなど関係なく、本当に人と人との絆を強めることができます。僕がお会いした2人のお年寄りのような人たちは、そのような絆をもっと必要としていると思います。

（中略）

オランダハンセン病協会からも説明を受けましたが、異文化間の活動を促進しようとする団体は、その許可を政府から得るために、多くの役所手続きを踏まなければいけません。ICEPのような継続的な音楽プログラムや、他の新しい芸術プログラムが、もっともっと多くのアーティストやパフォーマーを遠く離れたコミュニティーに派遣していくことを願っています。ベトナム国内外を問わず、それは意義のあることでしょう。

（ICEP Blog: アラン・トダ-アンバラスより）

## ● 12月24日【ハノイ】

### 13. VIN SCHOOL (学校)

<https://vinschool.edu.vn/en/home/>

幼稚園の年長から高等学校を卒業するまでの13年間をサポートする学校。優れた教育資源や施設を駆使することで、世界的な教育水準に達することを目指しています。

- 参加者：約55名（2つのクラス）

## ● 12月25日【ホーチミン】

### 14. THIEN PHUOC (障がい者支援施設)

およそ60人の障がいのある子どもや若者が暮らすクリスチャンの医療施設。

#### 第一部 病棟

- 演奏時間：約20分
- 参加者：約25名（ベッドに寝たきりの子どもたち）

#### 第二部 エントランスホール

- 演奏時間：約30分
- 参加者：約35名



14. 施設の子どもたちの前で演奏するタチアナ

(中略)

ホーチミンで最初に訪れたのは、障がいを持った子どもたちのための療養施設です。施設はカトリック教会が運営し、シスターが代表を務めています。子どもたちは幸せそうで、身だしなみもきれいでした。よく面倒を見てもらっているようです。彼らは笑顔で、音楽に合わせて体を動かしていました。

(ICEP Blog: 五嶋みどりより)

● 12月26日【ホーチミン】

**15. NGUYEN DINH CHIEU BLIND SCHOOL  
(視覚支援学校)**

ホーチミンの町の中心にある視覚支援学校。

- 参加者：100名以上（視覚障がいのある子どもたち）
- ICEPカルテットは4つの教室を巡って演奏しました。



15. 視覚障がいの子もたちに囲まれながら演奏するカルテット

**16. TU DU HOSPITAL (病院)**

<http://tudu.com.vn/en>

ホーチミンにある官営の産婦人科病院。

- 参加者：約40名（患者）
- カルテットのメンバーは個別で病棟を回って演奏しました。



16. 女性たちに向けて演奏するシャーロット

**17. HOA BINH PEACE VILLAGE  
(枯葉剤患者リハビリ施設)**

<http://msavlc.org/hoa-binh-peace-village-vietnam/>

ホーチミンのTU DU HOSPITALの一部。1990年に創立されて以来、400人余りの子どもたちが暮らしてきました。ほとんどの子どもたちが枯葉剤の影響を受けた子どもたちで、現在はおよそ60人（主に0歳から15歳）が生活しています。彼らの多くは身体的な障がいに加えて脳にもダメージを受けており、なかにはきわめて重篤な子どももいます。

- 参加者：約50名（患者+スタッフ）
- エントランスホールでカルテットの演奏をしました。
- みどりはその後、いくつかの病棟を回って演奏しました。



17. 自身のヴァイオリンに触れさせるみどり

## ● 12月27日【ホーチミン】

### 18. KY QUANG II PAGODA (孤児院)

100人以上の孤児が暮らすパゴダ（仏塔）。

- 演奏時間：約40分
- 参加者：約100名（パゴダと一緒に住む若い孤児たち）
- カルテットの演奏後、みどりは個別で子どもたちの部屋を訪れて演奏しました。



18. およそ70人の孤児たちの前で演奏するカルテット

### 19. YOUTH UNION OF HO CHI MINH CITY (青少年センター)

ホーチミンの若い世代に、英語の授業や無料のコンサートといった、教育・文化的なプログラムを提供する施設。

- 参加者：約30名（20代の若者たち）

フォーとモーターバイクの国を去っていきます。まとめきれないほど多くの感動で胸がいっぱいです。明るく楽しい表情をした人々とたくさん出会いましたが、彼らの多くは本当に困難な人生と向き合っています。彼らを訪れているとき、私たちは一人で何役もこなさないとはいけませんでした——音楽に没頭する演奏家、みんなを引きつける語り手、一人ひとりと心の通じる新しい友人。そして、自分がどれほど恵まれているか、痛いほどに感じないではいられません。私には、健康な体と心、やりがいのある仕事、支えとなる家族や文化、そして、演奏に没頭する資質があります。世界が見て見ぬふりをしたがる人々に何かを与えるためには、これらの特権をどう利用すべきなのか、ミドリがお手本となって私たちに示してくれました。私たちはここで演奏を届けて、新しい視点、謙虚さ、感謝の気持ちを学んだのです。

(ICEP Blog: シャーロット・マリンより)

---

認定NPO法人

## ミュージック・シェアリング

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ708  
TEL:03-3261-1855 FAX:03-3261-1856 E-mail:info@musicsharing.jp  
<http://www.musicsharing.jp>

